

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 13 日

事務事業名		空き地等の環境保全作業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	041102000228
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名	0411	生活環境の保全		主要事業		環境対策課	環境公害対策G
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト			
	施策名	11	生活環境の保全		未来PJ事業			
	基本事業名	02	環境保全活動の推進		合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)	
法令根拠					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
桜川市空き地等の環境保全に関する条例								

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市空き地等の環境保全に関する条例に基づき、市内の空き地等の環境保全についての知識の普及、思想の高揚その他必要な施策を講じ適正管理をすすめ、生活環境の保全を図る。	雑草の繁茂による市民からの苦情に対し空き地を現地調査し、土地所有者に通知・事後確認を行う。また、苦情を未然に防ぐため市内を巡回し雑草等が茂っている空き地を調査し土地の所有者に指導・通知を行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
空き地の現況調査、地権者への指導通知・事後確認。	苦情数	件	40.00	48.00	45.00	45.00	45.00
	調査時間	時間	135.00	241.00	200.00	200.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市民	人口	人	43,190.00	42,651.00	42,165.00	41,679.00	41,193.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
空き地を適正に管理してもらい、衛生面・安全面の生活環境の保全を図る	適正管理された空き地	件	26.00	26.00	30.00	32.00	34.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人	5.00人	5.00人
	述べ業務時間	時間	240.00	335.00	250.00	250.00	250.00
	人件費計(B)	千円	696	972	725	725	725
トータルコスト(A)+(B)		千円	696	972	725	725	725

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
		合計	0			合計

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	空き地等の環境保全作業	事務事業No.	41102000228	所属課	環境対策課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 空き地等に繁茂し、放置される雑草及びこれに類するかん木または枯草等が火災及び犯罪の発生原因となり、かつ、清潔な生活環境の保持に支障を及ぼすことを鑑み、雑草等を除去するため平成17年10月より条例が施行された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 土地所有者が自ら刈り取ろうとする意識が薄いので、雑草を調査して、空き地の所有者に適正に管理するよう指導してもらいたい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	空き地を適正に管理してもらい衛生面・安全面の生活環境の保持を図ることが市民生活の安全に直結している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	桜川市空き地等の環境保全に関する条例の定めがあるため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	対象となる空き地が急増し、苦情なども増加している。土地管理者の適正管理についての啓発が必要となる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	雑草地隣接住民からの危険性を訴える声に応えるためにも、市から通知・指導が不可欠である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費なし 苦情の件数や内容により業務時間が変化するため削減の余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	土地の管理については、管理者が行うため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	土地の管理者が高齢化しているため、管理が滞っている土地が多くなってきている。立木などの苦情の場合、処理費用も高額となるため、履行されない事が多い。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 代執行を行った場合、費用の支払い拒否をされることが想定される。裁判も視野にいれ協議検討する。 少子高齢化が進むにつれ、空き地等の増加も懸念される。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ①																						
コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>